

■発行・日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0332・FAX 72-1484 ■編集・企画振興課
■ホームページ <http://www.town-hino.com/> 電子メール info@town-hino.com ■印刷・株式会社高下印刷



「やっと見つけたね」早春の山を歩き、イカリ草を見つけて喜ぶ小学生

春を見つけたよ

山の学校―早春の山歩きと植物観察会
子ども週末活動

春の山を歩きながら自然の楽しみ方を学ぼうと、3月15日、山の学校―早春の山歩きと植物観察会が、野田・津地地内で開かれました。

小雨が降る天候の中、約30人の子どもや大人が、林道日野・金城線を途中で折り返す約3キロの道のりを歩きながら春の息吹を満喫しました。講師に驚見寛幸さん（大山青年の家）を招き、途中で見つけた山菜など植物の種類や効力を教わりました。驚見さんは「身の回りには、生活に役立つ植物がたくさんあります。もっと自然と触れ合いながら楽しみましょう」と話されました。

山歩きの後は、ビデオで学習したり、その日見つけたフキノトウなどの山菜を天ぷらにして食べました。

参加した子どもたちは「知らない植物がたくさんあった」「この自然を大切にしていきたい」などと話していました。

今月の主な内容

- 子ども週末活動 P 2
- 町議会議員選挙の日程 P 4
- 進む情報技術 P 6
- 市町村合併問題を考える P 8

子ども週末活動

体験を通して 喜びを――



生活に役立ちますよ」と講師の鷲見さんの話を聞く参加者たち（山の学校）

特集

町子ども週末支援活動ボランティアセンター

毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制がスタートして1年が過ぎようとしています。子どもたちが週末に行う自然・社会体験、ボランティア活動などを支援している町子ども週末支援活動センターの活動を紹介します。



年代を越えた世代交流（囲碁・将棋教室）

週末のさまざまな 体験活動を支援

昨年4月から、毎週土曜日を休みとする完全学校週5日制が始まり、町では、家庭・地域における子どもたちの教育力を高めていこうと、町地域教育力推進協議会を立ち上げました。

委員は、保護者、学校教育関係者、社会教育・福祉関係者、青少年育成団体などの16人で構成され、地域の情報交換、支援策の検討、広報活動などを行っています。

また、この協議会の発足に合わせて、子どもたちが週末に行うさまざまな自然・社会体験、ボランティア活動を支援するため、町子ども週末活動支援ボランティアセンター（以下支援センター）を町公民館に設置しました。

インタビュー



和田佳洋さん（小河南）

遊びの中から感じて

子どもたちには、自然体験の中で楽しみながらいろいろなことを感じ取ってほしいです。自分で体験したことは、大人になっても忘れられないものです。



村上翔さん（根雨）

実際に体験できる

普段体験できないことができるので、とても楽しいです。活動を通して地域のことも分かるようになってきました。これからも積極的に参加していきたいです。

町子ども週末活動支援
ボランティアセンター



スケッチしながら町を知る（絵画教室）



協力し合いながら作る（お菓子づくり教室）



「道端に咲いている植物も



伝統文化を伝承（たこづくり教室）

毎月第1・3土曜日を
利用して活動

支援センターでは、子どもたちの健全育成を目指し、ボランティアアコーディネーターの和田佳洋さん（小河内）を中心に、毎月第1・3土曜日を利用して、学校で取り組みにくいさまざまな週末活動を企画して開いています。

平成14年度は、**絵画教室、お菓子づくり、囲碁・将棋教室、スキー教室、山の学校**などが開かれ、毎回多くの子どもたちが参加しています。

参加した子どもたちは、年代を越えた交流から良き人間関係のあり方を学んだり、普段では体験できない活動を通して多くのことを学び、初め

ての体験が多く、ワクワクする「参加して友達がたくさん増えた」「学校の授業とは違うことを学べるので楽しい」など感想を話しています。

平成15年度には、野外炊飯教室や昆虫教室、魚釣り、陶芸教室、しめ縄づくりなど年間23回のとても楽しい内容が計画されています。

協力し合いながら
健全育成を

有意義な週末活動にするため、家庭、地域では、清掃活動や福祉活動、文化芸能伝承、地域の行事など体験活動の機会を充実させ、協力し合いながら子どもたちの健全育成を目指していきましよう。

ボランティアを
募集しています

支援センターでは、子ども
の健全育成に関心のある人、
活動に参加していただけるポ
ランテアを募集しています。
中学生以上から参加できま
す。町公民館までお問い合わせ
ください（電話74-0212）

議会議員選挙

4月27日(日)

4月27日(日)は、日野町議会議員選挙の日です。私たちに
とって、とても身近で大切な選
挙です。みんなそろって投票し
ましょう。

投票箱

投票できる人―
昭和58年4月28日以前に
生まれた人
投票できる人は、昭和58年
4月28日以前に生まれた人で
本町に住所のある人です。た
だし、転入された人は、平成
15年1月21日までに転入届を
済ませている必要があります。
また、投票開始の時刻まで
に転出した人は、投票できま
せん。

投票所一覧

投票区	施設名	投票時間	地区名
第1投票所	町公民館	午前7時～午後8時	黒坂1～7区、下菅、中菅、中菅中央
第2投票所	黒坂小学校久住分校	午後7時～午後7時	久住
第3投票所	下黒坂公民館	午後7時～午後7時	下黒坂、根妻
第4投票所	小河内集会所	午後7時～午後7時	小河内、畑、近江、布瀬谷
第5投票所	菅福公会堂	午後7時～午後7時	下上菅、中上菅、下福長
第6投票所	上上菅集会所	午後7時～午後7時	上上菅、井ノ原、諏訪、漆原
第7投票所	奥渡公民館	午後7時～午後7時	小原、別所、榎市
第8投票所	上本郷公会堂	午後7時～午後7時	上本郷
第9投票所	町老人憩の家	午前7時～午後8時	下榎1・2区、安原
第10投票所	津地公会堂	午後7時～午後7時	津地、下本郷
第11投票所	山村開発センター	午前7時～午後8時	根雨4～6区、三谷1・2区、貝原、舟場
第12投票所	デイサービスセンターかじか荘	午前7時～午後8時	根雨1～3区、高尾、野田
第13投票所	金持公民館	午後7時～午後7時	金持、後谷
第14投票所	板井原公民館	午後7時～午後7時	板井原
第15投票所	町青年の家	午前7時～午後8時	濁谷、門谷、秋縄、三土

日野町

投票日は

告示日は、4月22日(火)です

投票時間は―

午前7時～午後7時まで
一部投票所は午後8時まで

4月27日(日)の投票時間は、午前7時から午後7時までです。ただし、第1投票所(町公民館)、第9投票所(町老人憩の家)、第11投票所(山村開発センター)、第12投票所(デイスタービスセンターかじか荘)、第15投票所(町青年の家)は、午後8時までです。余裕を持って早めに投票しましょう。

入場券は忘れずに―

投票に行く時は、あらかじめお配りした投票所入場券をご持参ください。

なお、入場券をなくした人は、投票所の受付に申し出てください。

不在者投票は―

4月22日(火)から

不在者投票は、4月22日

(火)から4月26日(土)までです。投票区の区域外で働いている人、病気やけがのため病院などに入院している人、仕事や旅行、買い物などで投票日に投票できない人は、4月26日(土)までに不在者投票をしておきましょう。

不在者投票

4月22日(火)～26日(土)
場所 役場又は黒坂支所
時間 午前8時30分から
午後8時まで

郵便投票証明書を

お持ちの人は―

4月23日(水)までに
請求をしてください

郵便投票証明書の交付を受けている人は、郵便による不在者投票ができます。投票用紙などは、4月23日(水)までに、町選挙管理委員会(役場総務課 電話72 0331)にご請求ください。

平成14年度一般会計

1575万1千円を追加

平成14年度
特別会計補正予算

平成15年 第2回町議会定例会

平成15年第2回町議会定例会が、3月10日から開かれ、平成14年度一般会計補正予算平成15年度一般会計当初予算町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正についてなどの議案について審議されました。

その結果、平成14年度一般会計補正予算は、1575万1千円を追加し、総額4億9404万7千円となりました。

また、平成15年度の一般会

計当初予算は、33億8500万円、福祉・医療・人権・環境・教育を重点に編成されました。詳しくは、広報ひの4月号(4月20日発行)で紹介。

平成14年度

一般会計補正予算

主な平成14年度一般会計補

正は次のとおりです。

【総務費】

地域インターネット基盤整備事業 1億1250万円

【農業費】

土地利用型農業活性化対策推進事業(そば出荷奨励補助など) 140万6千円

【土木費】

除雪事業 405万8千円

【消防費】

緊急消防自動車二輪(消防用赤バイク)費用 13万4千円

平成14年度特別会計の補正結果は次のとおり。

【介護保険】

補正額 535万5千円追加

総額 4億5538万円

【簡易水道】

補正額 499万4千円減額

総額 1億4898万円

【公共下水道事業】

補正額 131万2千円追加

総額 3億5731万7千円

【農業集落排水事業】

補正額 318万2千円減額

総額 1億5579万1千円

進む情報技術

暮らしを快適にするための活用が課題

インターネット

ケーブルテレビ

携帯電話

ブロードバンド

地上デジタル放送

情報技術の進歩 インターネットなど

情報機器といえば、テレビ、ラジオ、電話などが代表的ですが、最近は技術が進歩し、新しい高度な情報を提供する機器が私たちの暮らしの中に広まってきています。

まずパーソナルコンピュータの普及とともに、進んでいるのがインターネットです。町内でも、すでに職場や家庭でインターネットを使って情報を得たり、公民館などのパソコン教室で、触れる機会も増えてきました。

通信速度を 早くすることが課題

現在、町内で使われているインターネットは、通信速度が遅く、情報を得るのに時間がかかります。快適に利用するためには、通信速度を早くすること（ブロードバンド化）が課題です。

テレビも、幅広い番組や地域の情報提供を目指して、アンテナの代わりに、各家庭に線をつなぐケーブルテレビ

【特集】 進む情報技術



パソコンは子どもたちにも身近な存在

（CATV）を導入している市町村も増えていきます。また、私たちが見ている地上波テレビも、国の政策で電波のデジタル化が進められることになり、鳥取県内では、2006年以降順次デジタル放送化が始まり、2011年には、すべてのテレビ局が変わる予定になっています。

テレビもデジタル化 高画質な放送が可能

テレビが、デジタル化されると、より高画質な放送、字幕・解説放送の充実、地域に密着した暮らしに役立つさまざまな番組が、楽しめるようになると思われます。ただし、いままでのテレビ



でも見ることはできますが、専用のチューナーが必要で、場合によってはアンテナなど施設の整備も必要となります。また、日野町のように山の多い地域では、難視聴地区が増えるのではないかと心配もあります。

普及した携帯電話 エリア拡大が課題

電話も携帯電話が普及して、いつでも、どこからでも電話がかけられるほか、文字や画像の送受信、情報収集にも役立つなど便利になってきました。しかし町内では、やはり電波事情により、携帯電話が通じない地域もあり、この解消が課題となっています。



県では、情報通信 基盤の整備が進む

鳥取県では、情報通信基盤の整備を図るため、平成13年度から15年度にかけて情報ハイウェイの整備を進めています。これは、県内の主要地域に光ケーブルを敷き、市町村がさらにそれにつなげることで、行政サービスの簡素・効率化、行政サービスの向上、地域産業の振興などに役立てようというものです。郡内では新築された日野総合事務所までケーブルがつながれます。



町では、15年度中に ネットワークを整備

町では、平成15年度中に情報ハイウェイにつなげ、町内公共施設における情報ネットワーク網を整備します。このように、情報技術が進む中、町では、住民の皆さんがこれらの技術を活用して、豊かな生活がおくれるようにしたいと考えています。中でもケーブルテレビは、テレビ番組が増えるだけでなく、防災無線に代わる地域情報の提供やイ

ンターネットの高速通信化が図れる面で魅力があります。

しかし、その反面、施設の整備には多額の経費がかかるほか、利用料で運営経費をまかなっていくため、より多くの人に加わってもらうことが必要になります。

アンケート調査結果―

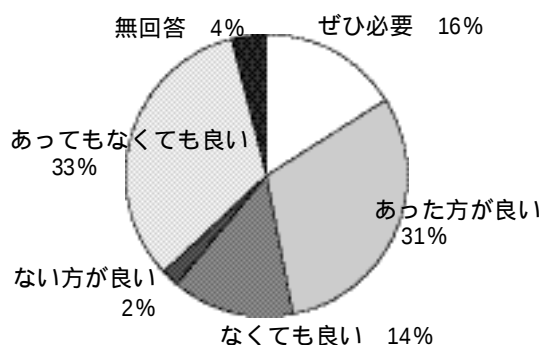
約半数がケーブル

テレビを希望

昨年11月に、ケーブルテレビ(CATV)とインターネットアンケートを、全世帯(1576世帯)を対象に実施しました。回収は661世帯(回収率42%)でした。主な調査結果を紹介します。

まず自宅のテレビアンテナ設置場所について聞くと、「自宅内(屋根等)」が51%、「離れた場所に設置」が8%、「共聴」が40%となっています。また半数近くの自治会で共聴と回答されており、山間地域で電波事情が悪いことが伺えます。

ケーブルテレビの必要性



ケーブルテレビ(CATV)の必要性については「ぜひ必要」16%、「あった方がよい」31%と肯定的な世帯が49%。逆に「なくてもよい」14%で「ないほうがよい」2%と否定的な世帯が16%でした。「あってもなくともよい」33%となっています。

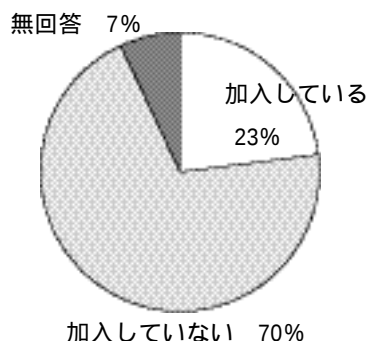
意見としては「加入金や工事金、月々の使用料を安く設定してほしい」などの声が多く、「デジタル放送となっても現状維持を望む」、「高齢者で、これ以上の負担を望まない」という人もありました。

インターネット

普及率は23パーセント

パソコンの所有状況について

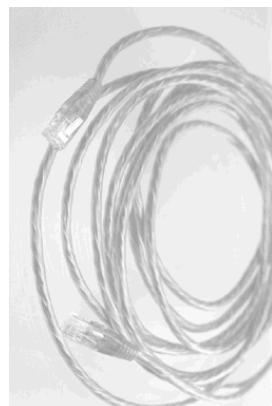
インターネットの加入状況



て聞くと「ある」37%、「会社で利用している」2%と4割の世帯がパソコンの経験があることがわかりました。また「ない」という人は55%でした。

インターネットの加入状況については「加入している」23%、「加入していない」70%でした。おおむね4世帯に1世帯がインターネットに加入していることが伺えます。

意見としては「ブロードバンド化を望む」という声が多く、また「高齢の人でもパソコンを習いはじめて関心がある」人もいます。逆に「高齢者等のため、必要性がわからない」という声もありました。



合併問題

江府町との合併勉強会に参加

県内の市町村合併の情勢は、新聞等の報道で紹介されているとおりですが、西部地区の合併問題をめぐっては、境港が単独存続を決定。中山・名和・大山の3町と西伯・会見の2町は、合併協議会を設置。米子市と淀江町も合併協議会設置へ。岸本・溝口は2町合併を決定。日南町は単独を表明するなど合併問題も大詰めを迎えています。

広報「ひの」でも市町村合併問題につきましては、お伝えしてきましたが、今回は、現在までの市町村合併の動向を紹介します。

日野町は江府町との合併勉強会に参加

市町村合併についての状況は、溝口町が岸本町との合併を決められたことで、日南町は、2月28日、単独存続の考えを明らかにされました。

日野町は「財政推移、人口減少などから単独での存続は厳しい」と判断しています。

江府町は、3月3日、町議会合併特別委員会を開き「日野町とさまざまな面で比較し検討する必要がある」との理由により2町での合併勉強会の設立を提案されました。

これを受け、日野町は、3月10日、町議会合併問題調査特別委員会を開き、江府町から提案のあった勉強会参加を

協議しました。

以降は、今までの合併に対する各市町村の動向を紹介します。

合同意見交換会での結論は出ず

合併の枠組みを考えようと、昨年11月6日、日野町で、日野郡4町の町長などの執行部と議会の約30人が出席し、第1回市町村合併の合同意見交換会が開かれました。

意見交換会では、枠組みに対してそれぞれの町の考えが出されました。日野町は、歴史的、文化的にもつながりが深い郡内4町。日南町は、県西部一円か米子、境港を含めた日野川流域。江府町は郡内4町が足並みをそろえて日野

川流域。溝口町は、住民意向調査の結果を踏まえ、岸本の最終方針を見極めて方向を出したいとの考えから、日野郡がまとまるといいう合併には難色を示され、この日は枠組みの結論は出ませんでした。

溝口町は岸本町との枠組みを最優先

日野郡4町の執行部・議会の合同の第2回意見交換会が、12月6日、溝口町で開かれました。

溝口町は「岸本町との合併を最優先し、米子市などを含む広域合併は、現段階では話し合っていない」。日野町は「郡内4町の合併が難しいならば、郡内3町で合併の任意協議会あるいは勉強会を立ち

上げてはどうか」。日南町は「合併を考えるなら広域合併。3町合併は視野になく単独でいかざるを得ない」。江府町は「日野郡がまとまると広域合併を」とそれぞれの考え方が出されました。

この日は、溝口町が岸本町との2町合併を最優先という方針をあらためて示されたため、日野町、日南町、江府町は、今後、郡内4町合併の可能性を残しながら、合併について状況分析をする会を開くことが決められました。

足並みをそろえて行動 溝口町に再度申し入れ

日南、日野、江府町の日野郡3町の町長は、12月19日、日南町で、市町村合併につい

て意見交換しました。

協議の結果、歴史と伝統のある日野郡の4町があくまで、共同で足並みをそろえて行動することを溝口町に申し入れることを確認しました。

そして、12月26日、日野、日南、江府の町長は、岸本町と合併を目指す溝口町に対し、日野郡が一つになって合併を推進するよう申し入れました。溝口町は、2町合併の方針を堅持する考えを示され「郡内の合併は、現状では賛同を得られそうもない」と説明されました。

境港市が単独を決め 特例市構想は消滅

日野郡内で協議会が開かれ、議論される中、12月24日、境港市議会の市町村合併問題調査特別委員会では、合併でなく、単独が妥当である旨の提案がされました。

これにより、県西部の合併から20万人規模の特例市構想はなくなりしました。

既に中山、名和、大山と会見、西伯が小規模合併に歩み出しており、米子市、日吉津淀江、岸本と日野郡4町の8市町村が合併の結論が出てい

ない状態となりました。

溝口町は岸本町との 合併方針を決定

その後、溝口町が、2月14日、岸本町との合併を最終決定されました。

岸本町も13日に同じ方針を決められ、3月議会定例会で合併協議会設置を議決、合併特例法期限内の2005年3月までに対等合併を目指すことになりました。

その結果を踏まえて、2月21日、日野、日南、江府町の3町は、日野町で合同の意見交換会を開きました。意見交換会では、日野、江府町は、3町合併の方向性を示しましたが、日南町は、住民から意見募集中であり態度を保留されましたが、2月28日、単独を決定されました。

4月上旬には 勉強会を開く予定

各市町村の結論が出されていく中、日野町は、今後「単独か」「江府町との2町合併か」の選択を迫られることとなります。

4月上旬には、合併した場

合の財政状況などの資料を作成し、その資料をもとに江府町と勉強会を開く予定になっています。

西部市町村 11月から3月までの動向

11月		2月	
11月6日	日野郡4町意見交換、方針決まらず	2月13日	岸本が溝口との合併を正式表明
11月22日	日野郡4町意見交換、枠組み再協議	2月14日	溝口町も岸本町との合併方針を決定
12月6日	日野郡4町意見交換、当面は3町で協議	2月19日	日野郡3町の合併特別委を開く。日野・江府は3町合併。日南は結論先送り
12月19日	日野郡3町意見交換、郡内4町の枠組みで	2月24日	淀江町、米子市との合併方針を決定
12月24日	境港市単独を表明	2月28日	日南町、単独を決定
1月6日	日野郡3町が、溝口町に共同歩調を申し入れ	3月4日	江府町、日野町に勉強会提案
1月14日	大山・名和・中山合併協議会が設立	3月10日	日野町は江府町提案に賛同
1月14日	西伯・会見合併協議会が設立		



日野ボランティア・ネット
ワークでは、3月2日、誕生
プレゼントを届けていないお
しどり荘入所の高齢者の方を
子どもたちと一緒に訪問し、
ホットケーキを作ったりして
交流しました。

この日は、子ども週末活動
支援事業の一つとして、小学
生から高校生まで約20人と大
人15人が参加しました。輪に
なつてわらべうたであいさつ
をしたり、お手玉や紙芝居を

おしどり荘でホットケーキづくり



しました。

その後は、九つのテーブルに分かれてホットケーキ作りをして一緒に食べました。

参加した子どもたちは、初めは戸惑っていましたが、だんだん慣れてくると、自分たちは「おかわりはいかがですか」「車いすを押して部屋まで送っていてもいいですか」などと話しかけていました。

入所の方は「とても楽しかったです。また来てください」と喜んでいました。

新年度の高齢者誕生
プレゼント企画

毎月第2土曜日に実施している高齢者誕生プレゼント企画も2年目を迎えました。

4月は「春のおすし作り」
5月は「桜もち作り」 6月は「かしわもち作り」を予定しています。

今後とも協力していただける団体、個人を募集しています。プレゼントのアイデアやお手伝いなど、皆さんの参加をお待ちしています。

参加者募集

4月

高齡者誕生
プレゼント企画

4月12日(土)

午前 10 時集合

場所 ボランティアセンター

■春のおすしと手作りカード

2月 ボランティア活動状況

依頼件数 9 件

活動件数 10 件

活動人数 54 人（町外 10 人）

■ 部屋の片づけ ■ 精米

■庭木の伐採 ■蛍光管の交換

4月から
「広報ひの」と「おしらせ版」の
発行日が変わります

「広報ひの」は毎月 20 日 「おしらせ版」は毎月 5 日

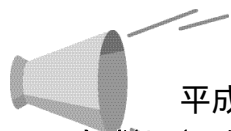


4月から「広報ひの」と「おしらせ版」の発行日を変更することになります。

「広報ひの」は毎月5日発行から毎月20日発行へ「おしらせ版」は、毎月20日発行から毎月5日発行になります。ただし「おしらせ版」で掲載していました「くらしのカレンダー」は「広報ひの」に掲載します。

次回発行は「広報ひの」が4月20日で「おしらせ版」が5月2日（5日が祝日のため）になります。

問い合わせ先 企画振興課 広報広聴係 音田(電話 72-0332)



平成 15 年度
主催イベントご案内

5/23
(金)

佐山雅弘
ジャズライブ

ピアノと中国楽器のジョイント

日本を代表するジャズピアニスト佐山雅弘さんと中国琵琶のワン・シャオトンさんのジョイント。

■ 5月23日(金)

午後6時45分開演

■ チケット前売り 一般 2,000 円
高校生以下 1,000 円

7/25
(金)

人形劇団ブーク
しりたがりやの
ゾウさん

～なぜ?なぜ?ものがたり～

昼と夜の2回公演

ゾウの鼻はなぜ長いのか?

10/19
(日)

住民参加型
ミュージカル
予定

国民文化祭の熱い感動を再び。
新しいテーマで取り組みます。
出演者、スタッフ、ボランティア
を公募予定。

1/11
(日)

岡田博美
ピアノリサイタル
予定

イギリス在住のピアニスト岡田
博美さんの久々のリサイタル。
多くの方々のご要望におこたえ
します。

図書館・ホール森の音楽隊



文化センターだより

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp



お気軽にご相談ください

リクエストサービス

「読みたい本が見つからない」「題名は忘れたけどこんな

図書館は、住民の皆さんが気軽に自由に利用できる施設です。「図書館ってこんなこともできるんですね」と、あなた自身の楽しみ方を見つけてみませんか。

本を探している」という時もご連絡ください。調べて購入する、他の図書館から借りるなどしてお届けします。費用はすべて無料です。

予約サービス

借りたい本が貸し出し中の場合は、予約サービスをご利用ください。ベストセラーなど人気の本は、予約しておかると便利です。本が返ってきたら、町公民館などへお届けすることもできます。

ご要望をどうぞ

「図書館でこんなこともしてみたい」「こんなサービスがあったら」など、ご要望もどしどしお寄せください。

貸し出し冊数(1人あたり)
本・雑誌 制限なし(2週間)
CD・カセット 2点(1週間)
ビデオ 1本(1週間)

ご利用ください 図書館サービス

インターネットで蔵書検索・メールでリクエスト

図書館の蔵書をインターネットで調べたり、借りたい本が見つかったらメールでリクエストすることもできます。また、平成15年度中には、館内でインターネット検索もできるようになる予定です。

インターネットで蔵書検索をどうぞ <http://ascpcenter.infosakyu.ne.jp/ilis/hino/top.htm>

図書館カレンダー
4月

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	7	⑧	9	10	11	12
13	14	⑮	16	17	18	19
20	21	⑳	22	23	24	25
27	28	㉑	㉒			

○印が休館日です

□ 図書館おはなし会
とき 4月26日(土)
午前11時～
内容 春の絵本とおはなし

□ 映画のご案内
名探偵コナン
4月26日(土) 2回上映
午前10時30分 午後1時30分
チケット前売り 中学生以下 800 円
一般 1,300 円 親子ペア 2,000 円

4月の展示コーナー

2002 県展入選作品展

～町内作家の入選作品～

4/2 ～ 4/14

日本画・洋画・工芸

4/16 ～ 4/27

写真



いざという時に備えて

赤十字救急法講習会

いざという時を想定し、救急法を学ぼうと、赤十字救急法講習会（日赤日野町奉仕団飯島好江委員長）が、2月24日、山村開発センターと老人福祉センターで開かれました。講習会には、同奉仕団会員ら約35人が参加。日本赤十字社鳥取県支部の指導員を講師に招き、救急法を学びました。参加者は、指導員の説明を真剣に聞きながら、気道確保、回復体位などの心肺蘇生法の基本手当てを学び「実際にやってみると難しい。日ごろの訓練が必要」などと話していました。



実際に救助法を試してみる参加者

昨年までは、黒坂を会場に開かれていましたが、多くの人に学んでもらおうと、今年は根雨地区・黒坂地区の2会場で開かれました。

100人に終了証

おしどり学園閉講式

生涯学習の推進と親睦を図ろうと開かれているおしどり学園の閉講式が、3月14日、町公民館で開かれました。

式では、100人の学園生に終了証が手渡され、赤木政男さん（下黒坂）が「これからも健康で、多くのことを学んでいきましよう」と代表してあいさつをしました。その後は、記念撮影をしたり、懇親会が開かれ、学園生たちは、1年間の思い出などを語り合っていました。

おしどり学園は、町内65歳以上の人を対象に毎月1回開かれ、生花、料理、グラウンドゴルフなど専門グループ講座に分かれて学習しています。



閉講式には70人の学園生が参加

夜間の外出には反射材を着用して

町交通安全母の会が訪問指導

高齢者の交通安全意識を高めようと、3月2日、町交通安全母の会（佐々木周子会長）が、黒坂1区から7区の高齢者宅を訪問し、交通安全を呼びかけました。

この日は、母の会会員、交通安全協会など約25人が参加。同地区の65歳以上の高齢者100人の自宅を訪問し、反射タスキやチャシなどを手渡し

「夜間の外出はとても危険です。明るい服装や反射材などを身につけ、交通事故に気を付けてください」と反射材の使用方法などをていねいに説明しました。

訪問先の石田勝茂さん（黒坂）は「最近、反射材着用意識が薄れていた。これからは、交通事故防止の意識を高めて行動したいです」と話していました。

県内では、交通事故における高齢者の占める死者割合が増加しています。その多くの被害者は、反射材を着用していませんでした。

一人ひとりに反射タスキの着用方法をていねいに説明

母の会では、今後も町内の地区ごとに訪問指導を実施し、高齢者が事故にあわないよう活動を広げていくことにしています。



すばらしい功績をたたえる

日本海新聞スポーツ大賞

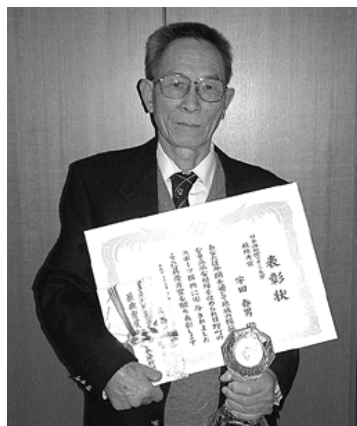
県内スポーツの振興を図るつと、3月4日、日本海新聞スポーツ大賞（新日本海新聞社主催）の表彰授与式が、町役場町長室で開かれました。



奨励賞の山根泰樹さん

最優秀賞には、アジアベテランズ選手権（中国大連）で80m障害・300m障害、棒高跳びの3種目に優勝された宇田春男さん（黒坂）。奨励賞には、長年にわたり少年サッカークラブの監督として、サッカー競技の普及と競技力向上に尽力された山根泰樹さん（野田）が選ばれました。

宇田さんは「この賞を励みにこれからもがんばりたい」、山根さんは「サッカーを通じて青少年育成をしていきたい」と話していました。



最優秀賞の宇田春男さん



町長から賞状が贈られる

このスポーツ大賞は、各市町村で優秀な成績を残した人スポーツ選手を育成・指導に功績のあった人を表彰し、栄誉をたたえるものです。

ピカピカで

強い歯になろう

すくすく親子教室

育児について学ぼうと、すくすく親子教室が、3月18日、山村開発センターで開かれました。



「きれいになったかな」鏡で確認

今回は、歯科栄養士（県歯科衛生士会）を講師に招き、歯をテーマに、乳歯の役割や虫歯などについて学びました。参加した親子は、歯科衛生士の指導を受けながら、歯ブラシを使って歯を磨く練習をしたり「どんなおやつがいいのか」などと積極的に質問をしていました。

この教室は、毎月1回、同会場で開かれています。次回は、4月15日に「アロマでリフレッシュしよう」をテーマに学習します。

おしらせ

ぽかぽか教室

転倒骨折予防教室

希望団体を募集

身体等に障害のある方へ軽自動車税の減免申請4月23日までに手続きを身体等に障害をお持ちの方が所有の軽自動車で、本人又は生計を同じくする人が使用の場合は、申請により軽自動車税が減免されます。

【申請期限】

4月23日（水）まで

なお、減免の該当には条件がありますので、手続きなど詳しくは、住民ふれあい課税務係（担当 伊田達彦）までお問い合わせください。

（電話72 0333）

県総合情報誌

鳥取NOW発売中

巻頭特集

「おもしろ体験に挑戦」

【問い合わせ先】

役場企画振興課

（電話72 0332）



寝たきりとなる原因の骨折や転倒をしないために、簡単で楽しい運動を皆さんでやってみませんか。教室を希望される団体を募集しています。

【対象】

老人クラブ、各自治会などの団体

【内容】

健康運動指導士を講師に迎えて、転倒骨折の予防運動などをします。

【会場】

希望団体が、いつも利用される集会所や公民館などで開けます。

【実施回数】

年間2回（約半年に1回程度の教室を計画しています）

【日程】

教室を希望される団体の代表者の方に、後日日程を連絡して調整させていただきます。

【申込期限】

4月30日（水）まで

【問い合わせ先】

在宅介護支援センター

吉原尚志（電話72 1852）

みんな行儀よくなったよ

黒坂保育所の園児が、座禅に挑戦―泉龍寺

座禅を通して、精神の集中力を高めようと、3月17日、黒坂保育所の園児たちが、泉龍寺（三島道秀住職）で座禅をしました。

年長園児の5人は、三島住職から心得、礼儀作法につい

て教えてもらい、約15分間の座禅に挑戦しました。

三島住職は、「最初のころと比べると背筋が伸びて、きちんと出来ていました。その自信を持って、4月からの学校生活を楽しんでください」と



「背筋を伸ばしてくださいね」と友だちに声をかける



三島住職へ感謝の手紙を渡す園児たち

声をかけ、園児たちは「座禅のほかにもたくさんのお話を教えてもらった」「みんなが行儀よくなった」などと感想を話していました。

終わりに、三島住職から手作りの修了証書と交通安全のお守りが、一人ひとりに手渡されました。

園児たちは「1年間ありがとうございました」と、お礼に感謝の気持ちを込めた手紙を住職にプレゼントしました。黒坂保育所では、約14年前からこの座禅を続け、毎月1回、年長園児が、泉龍寺を訪れています。

わたしの町

2月末日現在

(前月比)

人口	4,503人(+3)
男性	2,129人(+3)
女性	2,374人(±0)
世帯数	1,575戸(-3)

オシドリニュース

『北へ北へ』

2月末、今期最高オシドリ821羽を数えました。そして、3月末、観察者は、1万2千人になりました。皆様に支えていただき、このように記録を更新することができました。ありがとうございます。現在オシドリは北へ向かっています。どうぞ無事を祈ってやってください。しばらくの間、さよならです。

連絡先オシドリグループ事務局 森田(72-0271)



写真「旅立ち」
撮影 山根茂さん(根雨)

2月中届出分 (敬称略)

赤ちゃん誕生

おめでとございます

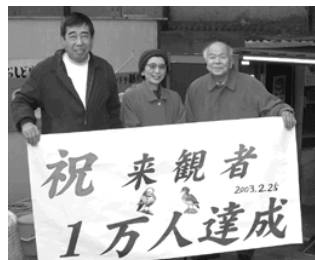
(出生児)	(保護者)	(性別)	(住所)
奥田 駿斗	研二・美名	男の子	野田
木山 智裕	義仁・則子	男の子	高尾
住田有衣菜	真一・貴子	女の子	下菅

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名)	(年齢)	(住所)
笹間 健三	82歳	濁谷
佐々木芳枝	93歳	舟場
佐蔵 功	79歳	黒坂
石田すぎよ	89歳	下榎
長尾伊佐乃	89歳	小原

編集後記▼「山の学校」の取材は、仕事をしながら、子どもたちと楽しい時間を過ごしました。途中で、「つくし」を見つけ、子どもたちの思い出出し、日ごろの忙しさを理由に、身近な物にも気づかない自分に反省。肩の力を抜こうと思いました。④



2月25日、オシドリ観察者が1万人になりました。1万人目の山根都夫さん(愛知県日進市)は、近くで見れて感激しました。また来ます」と話されました。